

笑いで広がる新しい体験

- 1：講座日 2026年9月25日（金）
2：テーマ 上方演芸の笑い～落語を中心に～
3：講師 やまだりよこ氏



お笑い大好きのやまだりよこ先生、若いころは年350回以上そして今も年100回以上演芸場に通われているとのこと。そしてその笑いへの気持ちを誰かに伝えたいとの思いから演芸ジャーナリストになられ、今日私たちに漫才、落語の面白さ、楽しさについて成り立ちから伝授してくださいました。

漫才は、子供のころ、ラジオから流れてきたエンタツ、アチャコの漫才の面白さ、漫才全盛期のやすし、きよしの笑いそして今は M-1 グランプリと移っていきます――

漫才は {その時代の“今、現在” と日常をもとにともに笑う}

落語は江戸時代の {神社境内での辻噺、小噺} がもとになっているとのことでした。戦前の衰退の時期を乗り越え、戦後桂米朝氏をはじめ多くの落語家によって復興し隆盛へと導かれました。落語は一人芝居です、演者によって面白さは格段に変わります。

落とし噺――落語の落は {落ち} でもあるが 洒落の {落} でもある

【午後は藤田征夫氏のマジックショー】



どれもこれもすばらしいパフォーマンスでした。あれ？あれ？どーなっているの？と思っている間に進んでいきました。

最後、2つマジックを教えてくださいました。練習してどこかで披露出来たらうれしいです

5枚の紙が1000円札5枚に！

【文責一班 KI】